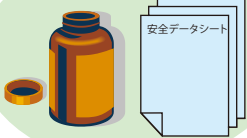


病理学的知見にもとづく 化学物質の有害性評価 コース

～化学物質の毒性作用機序から試験データの読み方まで～

日程 2019年6月より2020年3月まで全**10**回

ご存知ですか？
自社製品のSDS...



WSSD（持続可能な開発に関する世界首脳会議）の目標である「化学物質が人の健康と環境にもたらす著しい悪影響を最小化する方法で使用、生産されることを2020年までに達成する」に向け、2006年に国際合意されたSAICM（国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ）に沿ったリスク最小化の取り組みが世界的に加速しています。EU・REACHでは、予備登録をした年間1～100トン未満の段階的導入物質について、2018年5月末で登録猶予期限が満了しました。移行期間が終了し、EUにおいて事業を展開している日本企業は今後の対応を迫られており、大きな転換点を迎えています。

こうした状況下で、化学メーカーは、製造者責任として、製造する化学物質のヒト有害性を正しく理解しておくことが、ますます重要になっています。しかし現実には、一部大手を除き、病理学・毒性学の専門家を擁する化学メーカーは極めて少なく、SDS/GHSにおける反復投与毒性試験、発がん性試験等のデータについて病理学的知識を有して理解できる人材の育成は急務となっています。

本コースは以下のような特長があります。

- 製造者責任として、化学物質のヒト有害性を正しく理解するために必要な基礎知識を整理します。
- 化学物質は人体にどのような影響を与えるのか、どのように有害性評価されているのか、化学系の出身者等、病理学を学んだことのない方にもわかりやすく解説します。
- 病理学を身近に感じられるよう、一般的な疾病にも触れながら、各器官の仕組み、化学物質の作用機序、試験データの読み方、NOAELの決定等を学習します。
- 2019年度の本カリキュラムでは、1年間で全臓器を網羅します。

定員 15名（少人数制を維持するため、申込多数の場合は2クラスに分けて実施する場合があります。）

たとえば、このような方にご受講をおすすめします。

- 化学物質を製造、または使用しているメーカー等にご所属で、化学物質のヒト有害性評価について、病理学の基礎から学びたい方。
- 調査機関、公的研究機関、行政機関等にご所属で化学物質のヒト有害性評価にご関心をお持ちの方。

会場 かながわサイエンスパーク(KSP)内講義室（川崎市高津区坂戸3-2-1）

◆JR南武線「武蔵溝ノ口」・東急田園都市線「溝の口」下車

カリキュラム編成者・講師

化学物質リスク評価研究所 代表

西川 智（医学博士・獣医師・認定毒性病理学専門家・認定獣医病理学専門家）

昭和45年北海道大学獣医学部卒業後、協和発酵工業入社、医薬品等の安全性試験の病理学的検査に従事。平成16年同社定年退職後（独）製品評価技術基盤機構（NITE）にて反復投与毒性試験のQSAR（カテゴリーアプローチ研究）及び経済産業省、NITE職員の病理学的知識に基づく毒性学教育に従事。平成24年 化学物質リスク評価研究所設立。平成25～29年 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所にて地域イノベーション戦略支援プログラム 人材育成エキスパートとして教育講座の講師を務める。



受講料

（消費税込）

区分	A 一般	神奈川県関係割引	
		B KISTECパートナー団体会員 C 神奈川県内中小企業	D 「C」以外の神奈川県内企業 E 神奈川県内在住の個人の方
全日程	105,000円	84,000円	94,500円

※ 神奈川県内中小企業とは・・・事業所が神奈川県内にあり、資本金が3億円以下、または、企業全体の従業員が300人以下である企業をさします。

※ やむを得ない事情により、日程・内容等の変更や中止をする場合があります。 ※ 8割以上の出席者には「修了証」を授与します。

主催 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

協賛 一般社団法人日本化学工業協会

後援 国立医薬品食品衛生研究所 化成品工業協会（一社）日本塗料工業会（公社）高分子学会（一社）繊維学会（公社）日本材料学会（一社）日本複合材料学会 日本分析化学会（一社）資源・素材学会 日本化粧品学会 日本材料科学会（一社）日本環境化学会（一社）表面技術協会（公社）日本化学会（公社）日本薬学会 川崎商工会議所 株式会社ケイエスピー

カリキュラム内容および日程

●やむを得ない事情により、日程・内容等の変更や中止をする場合がございます。
●講義中の録音・描画・写真撮影はお断りいたします。

第1日	オリエンテーションおよび有害性評価の基礎	6月13日 (木)
13:15~17:15	オリエンテーション ：社会的背景と化学物質規制の意義 有害性評価の基礎 ：28日反復投与／発がん性／化審法の要求投与ルートに基づく経口投与による評価 人体のしくみ ：各器官の仕組みと機能、化学物質による生体への影響	
第2日	消化器	7月11日 (木)
13:15~17:15	胃や十二指腸から門脈を通して吸収される物質と吸収されずに糞便排泄される物質の障害を考える	
第3日	肝臓	8月22日 (木)
13:15~17:15	門脈系から肝臓に入ってきた物質の類洞・肝細胞での分解・解毒・代謝過程における障害を考える	
第4日	腎臓	9月12日 (木)
13:15~17:15	心肺循環から大循環に入った物質が腎臓・膀胱で再吸収・尿排泄される際の障害を考える	
第5日	生殖器系・内分泌系	10月10日 (木)
13:15~17:15	精巣、精巣上体(以上オス)子宮、卵巣(以上メス)、下垂体、甲状腺、副腎等の障害について学習する	
第6日	呼吸器系・神経系	11月7日 (木)
13:15~17:15	肺、気管支、鼻腔、中枢神経、末梢神経等の障害について学習する	
第7日	造血器	12月5日 (木)
13:15~17:15	血液・骨髄・脾臓・胸腺・リンパ節等の障害について学習する	
第8日	肝臓II	1月9日 (木)
13:15~17:15	第3日目の講義でカバー出来なかった肝臓障害について復習も含めて学習する	
第9日	腎臓II・膀胱	2月6日 (木)
13:15~17:15	第4日目の講義でカバー出来なかった腎臓・膀胱障害について復習も含めて学習する	
第10日	循環器・運動器・感覚器	3月5日 (木)
13:15~17:15	心臓・骨・筋肉・皮膚・目等の障害について学習する。講義終了後、意見交換会を開催。	

講義の進め方

- 各臓器の正常肉眼・組織構造及び機能について人体及びラットのモデルを用い概説します。
- 国立医薬品食品衛生研究所安全性予測評価部より公開されている「既存化学物質毒性データベース」より「28日間反復経口投与毒性試験」「反復投与毒性・生殖毒性併合試験」を例題にして各臓器・病理所見毎に分けて特定標的臓器毒性やそのメカニズム発現を学習し解説します。なお、病理組織学的検査結果も初心者にも分かり易く正常と異常組織写真を対比して説明します。
- 該当化合物につき(独)製品評価技術基盤機構より公開されている、SDS/GHSから「健康に対する有害性」の内「特定標的臓器毒性(反復暴露)」の分類結果・根拠等を、担当となった受講生が抄読発表し、クラスで議論する。
- 少人数制を維持するため、申込多数の場合は、第2日以降、上記日程の翌週に講義日を追加し、2クラスに分けて実施する場合があります。その際、クラス分けは業種別の振り分けとなります。

※希望者には、正常組織および病理組織の標本を顕微鏡でご覧いただけるよう用意しています。

申込要項

下記申込書にご記入の上、郵送又はファクシミリにてお送りください。
ホームページの申込フォーマットからもお申し込み頂けます。
*申込締切り後、受講決定者には受講票等の必要書類をお送りします。
*募集人員を超えた応募があった場合は、抽選により選考させていただくことがあります。

お申込み・お問合せ

(地独) 神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)
人材育成部 教育研修グループ
〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 KSP東棟1F
Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2097
e-mail: ed@newkast.or.jp URL https://www.kanagawa-iri.jp

*の項目は、該当するものに○印をつけて下さい。FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが着信確認のお電話をお願いいたします。

「病理学的知見にもとづく化学物質の有害性評価」コース 受講申込書		FAX送付先 044-819-2097	
ふりがな氏名		受講の目的	
ふりがな企業名		所属・役職名	
所在地	〒 - 都道府県		
TEL	(内)	FAX	E-mail @
この講座の開催をどこで知りましたか *		KISTEC科学技術理解増進パートナーシップの会員ですか *	
ア.ダイレクトメール イ.KISTECホームページ		はい・いいえ	
ウ.メールマガジン エ.社内回覧		以前にいずれかの講座を受講したことが *	
オ.イベント会場での案内 カ.講師からの紹介		ある・ない	
キ.受講生からの紹介 ク.学会誌・学会のサイト		資本金 *	
ケ.その他()		ア 3億円以下 イ 3億円超~10億円未満 ウ 10億円以上 エ 該当なし	
		従業員数 *	
		ア 300人以下 イ 301人~1000人未満 ウ 1000人以上	

※申込書にご記入いただいた個人情報は、今後の事業等に関する情報や参加者募集の案内などの範囲内で利用または提供いたします。個人情報は、取扱目的以外に利用したり第三者に提供することはありません。